

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和4年9月30日

【中間会計期間】 自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日

【発行者の名称】 B N G銀行N . V .
(BNG Bank N.V.)

【代表者の役職氏名】 最高経営責任者
執行委員会法定構成員 G.J. Salden

【事務連絡者氏名】 弁護士 黒 丸 博 善
弁護士 奥 村 文 彦

【住所】 東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー23階
T M I 総合法律事務所

【電話番号】 (03)6438-5511

【縦覧に供する場所】 該当なし

- 注(1) 本書中、別段の記載がない限り、「ユーロ」または「EUR」と表示される金額は、欧州連合条約により改正された欧州共同体を設立する条約に従い単一通貨を採択した欧州連合加盟国の法定通貨を意味する。2022年9月22日現在、東京の主要銀行により公表されたユーロに対する日本円の為替相場の中値は1ユーロにつき141.84円であった。
- (2) 以下、B N G銀行N . V . を「BNG銀行」または「発行者」という。
- (3) BNG銀行の事業年度およびオランダ王国の予算会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

第1 【募集(売出)債券の状況】

該当事項なし

第2 【発行者の概況】

1 【概況】

BNG銀行は上半期に達成した業績に満足している。BNG銀行は、ウクライナを取り巻く情勢、エネルギー価格の上昇および世界的なサプライチェーンの混乱を注視している。高インフレのため、ECBは金融政策を引き締め、金利は大幅に上昇した。当年度の上半期は激動したにもかかわらず、BNG銀行の財務面に重大な影響を及ぼすことはなかった。

2022年上半期に、BNG銀行は2億600万ユーロの純利益を実現した。これは2021年上半期の純利益より1,900万ユーロ増加している。株主資本利益率も9.5%となり、前年同期(8.8%)を上回っている。純利益が増加した主な理由は、貸倒引当金の減少および流動性ポートフォリオからの実現金融取引損益の増加である。

2022年上半期において66億ユーロの長期貸付が行われた(2021年上半期:56億ユーロ)。長期貸付ポートフォリオは878億ユーロで、7億ユーロ増加した。この増加は主に、特に地方自治体からの需要が予想を上回ったためである。

2022年上半期の収益の動向

BNG銀行の利息損益は2億2,000万ユーロとなり、前年度を800万ユーロ下回っている。前年度の損益は、顧客ポートフォリオの再編および早期返済に伴う実現損益により、予想を2,000万ユーロ上回った。2022年度も、BNG銀行はTLTROファシリティの利用を続けている。ECBの有利な金利は、利息損益にプラスの影響を与えた。これらの有利な金利は、長期貸付に係る割引という形で顧客に還元されている。BNG銀行は、今後TLTROファシリティが終了した後は、利回りの低下を受け入れる。

第2四半期に、BNG銀行はData B. Mailservice B.V.の持分を売却した。ここから、参加持分による損益として600万ユーロの利益が生じた。手数料損益は、2021年上半期と比べ900万ユーロと、ほぼ横ばいであった。受取手数料は、主に決済取引に係る手数料およびコミットメント・フィーによる収入で構成される。

金融取引損益は、結局9,200万ユーロの利益(2021年上半期:6,300万ユーロの利益)であった。この損益は、主に長期金利の上昇に伴う未実現の市場価値調整(5,300万ユーロ)および実現損益(4,000万ユーロ)で構成されている。実現損益は、特にBNG銀行の流動性ポートフォリオからの利付有価証券の売却によるものである。

連結営業費用は5,400万ユーロで、2021年同期より600万ユーロ増加した。従業員数がさらに増加し、多くの欠員を一時的に外部職員で補う必要があったため、人件費が増加した。

報告期間において、主に償還により、1,400万ユーロが減損項目から取り崩された(2021年上半期:700万ユーロの取崩し)。BNG銀行の予想信用損失合計は、2022年上半期に1,400万ユーロ減少し2億2,600万ユーロとなった。

2022年6月30日現在、法人所得税費用は6,600万ユーロである。これは前年度より500万ユーロ減少しているが、その一因は、最低資本要件（過小資本）の影響が小さくなつたこと、またData B. Mailservice B.V.の持分の売却が課税免除されていることである。その結果、2022年上半期の実効税率は24.2%で、2021年同期（27.6%）より低下している。当年度の破綻処理基金への拠出は2,000万ユーロであった。これは前年度より1,800万ユーロ増加しているが、その主な理由は、2020年度から高い（貸借対照表）価額に基づき拠出額が計算されること、また（付隨的に）拠出率が上昇したことである。

貸借対照表の動向

2021年度末と比較して、貸借対照表総額は109億ユーロ減少し1,382億ユーロとなった。長期金利の上昇により、貸借対照表総額が減少した。金利が上昇したため、デリバティブの価値および対応する現金担保が減少し、2022年6月30日現在のデリバティブのネット・ポジションは38億ユーロ（2021年度末：112億ユーロ）である。

2022年上半期に、BNG銀行は、総額35億ユーロ超に上る新規のSDGボンド4件を含む債券の発行により、87億ユーロの長期資金を調達した。BNG銀行は、その優れた信用力のおかげで、2022年上半期も引き続き魅力的な金利で資金を調達できた。

報告期間において、BNG銀行の株主資本は結局5億ユーロ減少し約45億ユーロとなった。BNG銀行は、予測に基づき、ハイブリッド資本の一部償還を選択した。ECBの承認後、この資本のうち4億2,400万ユーロが2022年5月に返済された。この返済は、通常の配当金の支払いと共に、株主資本の減少の大部分を占めている。しかしながら、貸借対照表総額が減少したため、BNG銀行の普通株式等Tier 1比率およびTier 1比率は、2022年6月末現在それぞれ37%および40%に上昇した。

最後に、BNG銀行のレバレッジ比率は10.6%から8.2%に低下した。2021年度末と比べ低下した原因は、前述のとおりハイブリッド資本が償還されたこと、またECBに保有するキャッシュ・ポジションの全部または一部をレバレッジ比率から除外するオプションが廃止されたことである。BNG銀行の自己資本比率はすべて、規制当局が設定した最低水準を大幅に上回っている。

見通し

BNG銀行は、ソルベンシー要件の対象とならない新規の長期貸付を98億ユーロ提供するという年間目標を達成する見込みである。BNG銀行は当年度に、全体で107億ユーロの長期貸付取引高の実現を目指している。

前年度と同様、資金調達方針は引き続き、金融および資本市場に恒久的にアクセスし、可能な限り低い金利で、必要な期間および金額の資金を確保することに重点が置かれる。2022年度を通して債券の発行により調達する長期資金の目標は、BNG銀行が有利な条件で短期資金を調達できること、また低い担保ポジションがこれを可能にすることから、160億ユーロに下方修正された。BNG銀行は、2022年度の通期で50億ユーロ程度のSDGボンドを新たに発行する予定である。

上半期のコストは予想通りであった。労働市場の逼迫により、外部リソースへの依存を高める必要があるため、2022年下半期は予想を上回るコストが見込まれている。銀行税は3,500万ユーロと見積もられる。これは昨年度（5,300万ユーロ）より低くなっているが、2021年度は税率が1度限りとして50%引き上げられたためである。

金利が上昇した結果、BNG銀行は、利息損益が増加すると予想している。将来の市場価値調整および減損の動向は、当然ながら不確実である。したがって、BNG銀行は、2022年度の予想純利益について言及することは賢明でないと考えている。

2 【資本構成】

2022年6月30日現在のBNG銀行の資本構成（未監査）は以下のとおりである。

2022年6月30日現在

（未監査）

（単位：百万ユーロ）

授権株式資本：2億5,000万ユーロ

資本金（発行済全額払込済）	139
---------------	-----

資本準備金	6
-------	---

利益剰余金	3,827
-------	-------

再評価剰余金	60
--------	----

キャッシュフロー・ヘッジ準備金	6
-----------------	---

自己信用調整	1
--------	---

ヘッジコスト準備金	(9)
-----------	-----

当期純利益	206
-------	-----

ハイブリッド資本	309
----------	-----

負債証券	97,591
------	--------

受託資金	6,597
------	-------

劣後債務	37
------	----

資本合計	108,770
------	---------

3 【組織】

2022年上半期中において、BNG銀行の組織に重大な変更はなかった。

4 【経理の状況】

BNG銀行の連結中間財務書類（未監査）は、以下のとおりである。

連結貸借対照表

（単位：百万ユーロ）

	注記	2022年6月30日現在	2021年12月31日現在
資産			
現金および中央銀行残高		25,350	9,264
銀行預入金		155	163
差入現金担保		4,964	12,993
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産		1,136	1,383
デリバティブ		4,318	5,685
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産		7,255	8,572
償却原価で測定される利付有価証券		7,354	7,632
償却原価で測定される貸付金および前渡金		90,440	89,738
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する			
貸付金に対する価値調整		(3,013)	13,555
関連会社および共同支配企業		24	28
有形固定資産		14	15
未収還付税金		-	-
その他の資産		195	21
売却目的保有資産		-	8
資産合計		<u>138,192</u>	<u>149,057</u>
負債			
銀行借入金		19,518	19,525
受入現金担保		1,093	984
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債		221	310
デリバティブ		8,128	16,935
負債証券	1	97,591	101,355
受託資金		6,597	4,525
劣後債務		37	36
未払税金		25	32
繰延税金負債		20	77
その他の負債		417	216
負債合計		<u>133,647</u>	<u>143,995</u>
株主資本			
資本金		139	139
資本準備金		6	6
利益剰余金		3,827	3,736
再評価剰余金		60	83
キャッシュフロー・ヘッジ準備金		6	1
自己信用調整		1	3
ヘッジコスト準備金		(9)	125
当期純利益		206	236
株主に帰属する持分		<u>4,236</u>	<u>4,329</u>
ハイブリッド資本		<u>309</u>	<u>733</u>
株主資本合計		<u>4,545</u>	<u>5,062</u>
負債および株主資本合計		<u>138,192</u>	<u>149,057</u>

連結損益計算書
(単位:百万ユーロ)

	2022年上半期	2021年上半期
注記		
- 実効金利法を用いて計算した受取利息	2,041	2,127
- その他の受取利息	134	117
受取利息合計	2,175	2,244
- 実効金利法を用いて計算した支払利息	1,915	1,975
- その他の支払利息	40	41
支払利息合計	1,955	2,016
利息損益	2 220	228
- 受取手数料	11	10
- 支払手数料	2	2
手数料損益	9	8
金融取引損益	3 92	63
関連会社および共同支配企業による損益	10	1
その他の損益	0	1
収益合計	331	301
人件費	35	25
その他の一般管理費	18	22
減価償却費	1	1
その他の営業費用	0	0
営業費用合計	54	48
金融資産の減損損失純額	4 (14)	(7)
関連会社および共同支配企業の減損損失純額	(1)	0
破綻処理基金への拠出	20	2
	5	(5)
税引前当期利益	272	258
法人所得税費用	66	71
当期純利益	206	187
- うちハイブリッド資本所有者に帰属	23	21
- うち株主に帰属	183	166

連結包括利益計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

	2022年上半期	2021年上半期
当期純利益	206	187
株主資本で直接認識される組替調整される損益		
キャッシュフロー・ヘッジ準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	5	(2)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	0	-
	5	(2)
ヘッジコスト準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	(133)	(2)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	(1)	1
	(134)	(1)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に係る再評価剰余金の変動：		
- 未実現価額の変動	16	(13)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	(39)	(13)
	(23)	(26)
組替調整される損益合計	(152)	(29)
株主資本で直接認識される組替調整されない損益：		
- FVTPLで測定するものとして指定された金融負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動	(2)	(1)
組替調整されない損益合計	(2)	(1)
株主資本で直接認識される損益	(154)	(30)
合計	52	157
- うちハイブリッド資本所有者に帰属	23	21
- うち株主に帰属	29	136

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万ユーロ)

	2022年上半期	2021年上半期
営業活動によるキャッシュフロー		
税引前当期利益	272	258
調整：		
- 減価償却費	1	1
- 減損	(15)	(7)
- 純損益を通じて測定される未実現損益	(56)	(44)
営業資産および負債の変動：		
- 銀行預入金および銀行借入金（要求払以外）の変動	57	544
- 差入現金担保および受入現金担保の変動	11,048	5,257
- レポ取引およびリバースレポ取引の変動	-	1
- 貸付金および前渡金の変動	141	752
- 受託資金の変動	2,111	433
- デリバティブの変動	1,282	136
- 支払法人税	(73)	(81)
- 営業活動によるその他の変動	(405)	(259)
営業活動によるキャッシュフロー純額	14,363	6,991
投資活動によるキャッシュフロー		
投資および取得：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	(10)	(2)
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	(2,778)	(4,928)
- 償却原価で測定される利付有価証券	(667)	(598)
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	-	-
- 有形固定資産	-	(1)
処分および償還：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	65	58
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	3,202	4,698
- 償却原価で測定される利付有価証券	565	771
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	3	-
投資活動によるキャッシュフロー純額	380	(2)
財務活動によるキャッシュフロー		
受取額：		
- 歐州中央銀行供給資金（TLTRO）	-	6,000
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	-
- 負債証券	189,038	163,738
支払額：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	(80)	(30)
- 負債証券	(187,067)	(163,247)
- 劣後債務	(1)	(1)
- ハイブリッド資本に係る利息支払い	(23)	(25)
- 株主に対する配当金	(127)	(24)
- ハイブリッド資本に係る返済	(424)	-
財務活動によるキャッシュフロー純額	1,316	6,411

	2022年上半期	2021年上半期
現金および現金同等物の純変動	<u>16,059</u>	<u>13,400</u>
1月1日現在の現金および現金同等物	9,286	2,315
6月30日現在の現金および現金同等物	<u>25,345</u>	<u>15,715</u>
6月30日現在の現金および現金同等物 :		
- 現金および中央銀行残高	25,350	15,713
- 「銀行預入金」項目における現金同等物	4	3
- 「銀行借入金」項目における現金同等物	(9)	(1)
	<u>25,345</u>	<u>15,715</u>
営業活動によるキャッシュフローに対する注記		
受取利息額	2,093	2,183
支払利息額	<u>(1,911)</u>	<u>(2,009)</u>
	<u>182</u>	<u>174</u>

連結株主資本変動計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

2022年上半期

	キャッシュフロー・ヘッジ										株主に帰属する持分	ハイブリッド資本	合計
	資本金	準備金	再評価 剰余金	自己 ヘッジ 準備金	ヘッジ 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	ハイブリッド 資本				
2022年1月1日													
現在の残高	139	6	83	1	3	125	3,736	236	733	4,329	733	5,062	
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	206	206	-	-	206	
自己信用調整													
(OCA)の変動	-	-	-	-	(2)	-	-	-	(2)	-	-	(2)	
ヘッジコスト													
準備金の変動	-	-	-	-	-	(134)	-	-	(134)	-	-	(134)	
未実現損益	-	-	(23)	5	-	-	-	-	(18)	-	-	(18)	
包括利益合計	-	-	(23)	5	(2)	(134)	-	206	52	-	-	52	
ハイブリッド													
資本に係る返済	-	-	-	-	-	-	-	-	(424)	(424)	(424)	(424)	
BNG銀行株主に													
対する配当金	-	-	-	-	-	-	(127)	-	(127)	-	-	(127)	
ハイブリッド													
資本所有者に													
対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(18)	-	(18)	-	-	(18)	
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	236	(236)	-	-	-	-	
2022年6月30日													
現在の残高	139	6	60	6	1	(9)	3,827	206	4,236	309	733	4,545	

2021年上半期

	キャッシュフロー・ヘッジ										株主に帰属する持分	ハイブリッド資本	合計
	資本金	準備金	再評価 剰余金	自己 ヘッジ 準備金	ヘッジ 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	ハイブリッド 資本				
2021年1月1日													
現在の残高	139	6	86	11	5	184	3,712	221	733	4,364	733	5,097	
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	187	187	-	-	187	
自己信用調整													
(OCA)の変動	-	-	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	(1)	
ヘッジコスト													
準備金の変動	-	-	-	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	
未実現損益	-	-	(26)	(2)	-	-	-	-	(28)	-	-	(28)	
包括利益合計	-	-	(26)	(2)	(1)	(1)	-	187	157	-	-	157	
BNG銀行株主に													
対する配当金	-	-	-	-	-	-	(24)	-	(24)	-	-	(24)	
未払配当金													
(「その他の負債」に計上)	-	-	-	-	-	-	(148)	-	(148)	-	-	(148)	
ハイブリッド													
資本所有者に													
対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(21)	-	(21)	-	-	(21)	
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	221	(221)	-	-	-	-	
2021年6月30日													
現在の残高	139	6	60	9	4	183	3,740	187	4,328	733	733	5,061	

連結中間財務書類の会計原則

会社概要

BNG銀行N.V.は、オランダの法律に基づく法定二段構造企業であり、社会的インパクトを指針としている。BNG銀行の重点はもっぱら公共の領域に置かれ、BNG銀行の社会的インパクトの拡大が重視されている。BNG銀行の資本金の半分をオランダ王国政府が所有し、残りの半分を州、地方自治体および地域治水委員会が所有している。BNG銀行は、オランダ、ハーグ Koninginnegracht 2 に登録事務所を置き（商工会議所番号27008387で登録）、支店はない。

適用法令

中間財務書類は、欧州連合（EU）により採用されているIAS第34号「中間財務報告」に準拠して作成される。

本中間財務書類には、連結財務書類に必要な情報および開示のすべてが記載されるわけではないため、欧州連合により採用されているIFRSおよびオランダ民法典第2編第9章の適用ある条項に準拠して作成されたBNG銀行の2021年度連結財務書類と併せて読む必要がある。本報告書で使用されている会計方針は、BNG銀行の2021年度連結財務書類の注記に記載されているものと一致している。ただし、「EUにより採用され2022年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準」の項目に記載された会計方針の変更を除く。

一般に、BNG銀行は、EUにより採用されていないIASB発行の新規または改訂基準および解釈指針を適用しない。BNG銀行は、EUにより採用された2022年1月1日より後に開始する事業年度に強制適用される改訂基準および解釈指針の早期適用を原則として行わないことも決定した。

以下の新規または改訂基準、解釈指針および改善の適用により、BNG銀行の評価、損益の算定および開示の面で、本2022年度中間報告書において重要な調整は行われなかった。

EUにより採用され2022年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準

- IFRS第3号「企業結合」、IAS第16号「有形固定資産」、IAS第37号「引当金、偶発負債および偶発資産」の改訂および2018年 - 2020年サイクルの年次改善：IASBにより2020年5月14日に発行され、EUにより2021年6月28日に承認された。本改訂は2022年1月1日付で発効し、本改訂の実施による中間財務書類への影響はなかった。

EUにより採用されていない未適用の会計基準

当報告期間または将来の報告期間および予測可能な取引において、BNG銀行に重要な影響を及ぼすと見込まれる、未発効の他の基準はない。

評価および損益の算定に適用される重要な会計原則

中間報告書は、継続企業の前提に基づき作成される。貸借対照表項目のほとんどは、償却原価で測定される。貸借対照表項目「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融資産」、「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される（FVOCI）金融資産」、「デリバティブ」および「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融負債」は、公正価値で測定される。貸借対照表項目「関連会社および共同支配企業」は、持分法に準拠し表示される。貸借対照表項目「有形固定資産」は、減価償却累計額控除後の原価で表示される。収益は、BNG銀行に経済価値が発生する見込みがあり、かつ信頼性を持って収益を決定できる場合に認識される。費用は、可能な場合、サービスが提供された期間またはこれらの費用を相殺する関連した収益に割り当てられる。詳細については、個々の貸借対照表項目に係る会計原則を参照のこと。

ユーロはBNG銀行が使用する機能通貨であり報告通貨である。別段の記載がない限り、連結財務書類において、金額はすべて百万ユーロで表示される。

連結の会計原則

中間財務書類の作成に使用される親会社とその子会社の中間財務書類は、同一の報告日時点で作成され、同一の原則に基づく。収益、費用、配当金等のグループ会社内取引および残高のすべては、中間財務書類で完全に消去されている。連結に含まれる子会社の報告期間はBNG銀行と一致している。

本中間財務書類は、親会社およびBNG銀行が支配するすべての子会社の中間決算から構成される。支配は、BNG銀行が投資者となっていることにより変動リターンに対するエクスポージャーを有し、当該投資に関係した活動に対するパワーを行使することで当該リターンに影響を及ぼすことができる場合に存在する。グループ会社は、支配を獲得した日から、支配が消滅する時まで、完全に連結対象となる。BNG銀行が受益権または持分を保有する投資ファンドの支配を有するか否かを決定する際には、参加者としてBNG銀行が保有する財務上の利害関係が考慮される。

比較数値の表示の変更

本中間財務書類の比較数値は、2021年度財務書類および2021年度中間財務書類で開示された数値と相違するものはない。

中間報告書に対するCOVID-19の影響

2022年度の初頭に制限措置が解除された。COVID-19による財務成績への影響は限定的なものにとどまった。必要に応じて、財務成績への影響ならびに使用される重要な見積りおよび方法の詳細は、関連する注記に記載されている。

中間報告書に対するウクライナ戦争の影響

2022年度はウクライナにおける戦争とその経済的影響が顕著になっている。2022年上半期のBNG銀行の業務への影響については、執行委員会の報告書を参照のこと。金利が上昇したため、新規の資金需要が高まり、利息損益が減少した。インフレ率の上昇により、金融市場が大きく変動し、2022年上半期の業績が影響を受けた。

セグメント情報

BNG銀行は、リソース配分と業績測定を決定する際に、貸付業務と地域開発業務を区別している。BNG銀行は、貸付業務の管理と設定において、異なるセグメントまたは事業ユニットを区別していない。BNG銀行の地域開発業務は、その貸付業務と比較して重要ではない。したがって、本中間報告書にセグメント情報は含まれていない。

配当

2021年度の配当金は1億2,700万ユーロが株主総会に提案され、2022年4月22日に支払われた。

ハイブリッド資本所有者に対する2,000万ユーロの利息支払いは2022年上半期に分配された。この分配は、法人所得税上、損金算入可能である。BNG銀行は、2022年上半期の業績に係る中間配当を支払う予定はない。

連結中間財務書類に対する注記

1 負債証券

2022年上半期に、負債証券は38億ユーロ減少し976億ユーロとなった。これは、ボンド・ローンが67億ユーロ減少し、（コマーシャル・ペーパーの形による）短期資金調達が29億ユーロ増加したためである。

BNG銀行は、その長期資金調達業務に関連して、2022年上半期に87億ユーロ（2021年上半期：64億ユーロ）の長期負債証券を発行した。報告期間における長期負債証券の償還価額合計は88億ユーロ（2021年上半期：64億ユーロ）であった。

2 利息損益

	2022年上半期	2021年上半期
受取利息		
実効金利法を用いて計算した受取利息：		
- 債却原価で測定される金融資産	866	935
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される		
金融資産	24	36
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,015	1,058
- 金融負債に係る受取利息	136	98
	<hr/> 2,041	<hr/> 2,127
その他の受取利息：		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして		
指定された金融資産	31	24
- 強制的に純損益を通じて公正価値で測定される		
金融資産	1	1
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	95	92
- その他	7	-
	<hr/> 134	<hr/> 117
受取利息合計	<hr/> 2,175	<hr/> 2,244
支払利息		
実効金利法を用いて計算した支払利息：		
- 債却原価で測定される金融負債	656	635
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,120	1,180
- 金融資産に係る支払利息	139	160
	<hr/> 1,915	<hr/> 1,975
その他の支払利息：		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして		
指定された金融負債	4	12
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	30	28
- その他	6	1
	<hr/> 40	<hr/> 41
支払利息合計	<hr/> 1,955	<hr/> 2,016
利息損益合計	<hr/> 220	<hr/> 228

2022年上半期におけるTLTRO第三弾の預金に係る受取利息は9,200万ユーロ（2021年度：6,700万ユーロ）である。TLTRO取引の利息損益の算定には、予想優遇金利を含む金利が使用されている。条件はすべて満たされている。

3 金融取引損益

以下の表は、実現および未実現の市場価値変動による金融取引損益の内訳を示している。

	2022年上半期	2021年上半期
信用スプレッドおよび流動性スプレッドの変動に起因する純損益を通じて公正価値で測定する		
以下の金融資産の市場価値変動：		
- 利付有価証券	(4)	(5)
- ストラクチャード・ローン	(3)	3
	(7)	(2)
ヘッジ会計による損益		
- ポートフォリオ公正価値ヘッジ会計	3	20
- ミクロ公正価値ヘッジ会計	19	4
- ミクロ・キャッシュフロー・ヘッジ会計	0	1
	22	25
デリバティブに係る取引先信用リスクの変動 (CVA / DVA)	14	17
売却および買取りによる実現損益	40	19
その他の市場価値変動	23	4
合計	92	63

金融取引損益は9,200万ユーロの利益（2021年上半期：6,300万ユーロの利益）であった。2021年同期と比べ増加した主な理由は、BNG銀行の流動性ポートフォリオからの利付有価証券の売却による4,000万ユーロの実現損益である。2022年度は、特に長期金利が上昇したため、未実現の公正価値調整の残高が5,200万ユーロになった。

4 金融資産およびオフバランスシート契約の減損

金融資産およびオフバランスシート契約の減損のステージ別内訳

以下の表は、減損の対象となる金融資産およびオフバランスシート契約の3つの減損のステージ別内訳を示している。

ステージ1：当初認識以降、信用リスクの著しい増大（SICR）がない正常債権エクスポージャー

ステージ2：当初認識以降に、信用リスクの著しい増大があった正常債権エクスポージャー

ステージ3：不良債権エクスポージャー

2022年6月30日現在

帳簿価額	帳簿価額総額			信用損失引当金(評価性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
減損対象の金融資産						
現金および						
中央銀行残高	25,350	25,350	-	-	-	-
銀行預入金	155	155	-	-	0	-
差入現金担保	4,964	4,964	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融						
資産 ¹	7,255	7,255	-	-	0	-
償却原価で測定される利付有価						
証券	7,354	7,303	52	-	0	(1)
貸付金および						
前渡金	90,440	89,597	475	594	(6)	(9)
合計	135,518	134,624	527	594	(6)	(10)
						(211)

2022年6月30日現在

帳簿価額	額面金額			引当金(負債性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
オフバランスシート契約						
偶発債務	540	3	1	0	0	-
取消可能信用供与契約	5,857	83	64	-	-	-
取消不能信用供与契約	4,935	0	8	0	-	-
合計	11,332	86	73	0	-	-

2021年12月31日現在

帳簿価額	帳簿価額総額			信用損失引当金(評価性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
減損対象の金融資産						
現金および						
中央銀行残高	9,264	9,264	-	-	-	-
銀行預入金	163	163	-	-	0	-
差入現金担保	12,993	12,993	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融						
資産 ¹	8,572	8,572	-	-	0	-
償却原価で測定される利付有価						
証券	7,632	7,566	68	-	0	(2)
貸付金および						
前渡金	89,738	89,014	412	549	(6)	(8)
合計	128,362	127,572	480	549	(6)	(10)
						(223)

注1 その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、(正味)帳簿価額には含まれていない。

	2021年12月31日現在					
	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
オフバランスシート契約						
偶発債務	499	1	1	0	0	(1)
取消可能信用供与契約	5,736	69	66	-	-	-
取消不能信用供与契約	4,486	1	0	0	0	-
合計	10,721	71	67	0	0	(1)

2022年6月30日現在、不良債権エクスポートは合計6億600万ユーロ（2021年度末：5億4,900万ユーロ）であった。不良債権エクスポートは、ポートフォリオ合計の0.4%（2021年度末：0.4%）を占め、18件の債務者（2021年度末：14件の債務者）に関係する。債務者数の増加は、顧客に特有の事由によるものである。BNG銀行は、不良債権エクスポートに関連して合計1億3,300万ユーロ（2021年度末：1億6,000万ユーロ）の政府保証を受けている。以下の表は、不良債権エクスポートの推移を示している。

	2022年上半期		2021年度
	549	397	
1月1日現在の不良債権エクスポート合計			
既存の不良債権エクスポートの増加	4	(5)	
正常債権から不良債権エクスポートへの移動	61	213	
不良債権から正常債権エクスポートへの移動	-	(34)	
不良債権エクスポートの返済および決済	(8)	(22)	
期末現在の不良債権エクスポート合計	606	549	

予想信用損失引当金の変動

以下の表は、金融資産に係る予想信用損失引当金（評価性）およびオフバランスシート契約に係る予想信用損失引当金（負債性）の変動を示している。

	2022年上半期					
	組成および 取得による	認識中止、 返済および 処分による		の変動に よる変動 (純額)	信用リスク の変動に よる変動 による 償却による 引当金勘定の 減少	期末残高
		期首残高	増加	減少	減少	
引当金（評価性）						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	0	-	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される						
金融資産	0	0	0	0	-	0
償却原価で測定される						
利付有価証券	2	0	0	(1)	-	1
貸付金および前渡金	237	2	(1)	(13)	-	225
	239	2	(1)	(14)	-	226
引当金（負債性）						
オフバランスシート契約	1	0	0	(1)	-	0

	2021年上半期					
	期首残高	認識中止、 組成および 取得による		信用リスク の変動に 処分による による変動		期末残高
		増加	減少	(純額)		
引当金（評価性）						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	0	-	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される						
金融資産	1	-	-	(1)	-	0
償却原価で測定される						
利付有価証券	6	-	-	(2)	-	4
貸付金および前渡金	210	2	(4)	1	-	209
	217	2	(4)	(2)	-	213
引当金（負債性）						
オフバランスシート契約	4	-	(1)	(3)	-	-

契約上のキャッシュフローの変更

全期間の予想信用損失に基づく損失引当金が設定されている（すなわちステージ 2 または 3）金融資産で、2022年上半期中に契約上のキャッシュフローが変更されたものはない。全期間の予想信用損失に相当する金額で測定された損失引当金が設定され（ステージ 2 または 3）、過去の報告期間に条件変更が行われた金融資産で、2022年上半期中にステージ 1 に戻されたものはない。

主要なインプットおよび仮定

金融資産の予想信用損失（ECL）は、信用リスクの著しい増大（SICR）が発生したかどうかによって、12か月または全期間のどちらかに基づいて測定される。予想信用損失合計は、デフォルト確率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）およびデフォルト時エクスポージャー（EAD）の結果を割り引いたものである。

デフォルト確率

PDは、ECLおよびSICRの決定における主要な構成要素として使用される。BNG銀行は、外部格付が入手できないエクスポージャーについて、主に専門家の判断に基づくPDモデルを開発した。IFRS第9号の遵守およびいわゆる「ポイント・イン・タイム」のPDを確保するため、BNG銀行は将来に関する情報（FLI）を含んだオーバーレイ・モデルを開発した。ステージの決定においては、将来に関する情報を調整済の信用格付が使用されている。BNG銀行は、財務書類内の他の関連する見積りに対するインプットと整合するような、経済予測に基づく3つの内部開発シナリオを適用している。提案されたマクロ経済予測は、外部のマクロ経済予測と比較され、シナリオの外部検証性を確保している。シナリオは、資産・負債委員会（ALCO）で承認されている。これによって、BNG銀行はPDが合理的かつ裏付可能であることを確保している。

デフォルト時損失率

信用ポートフォリオのデフォルト率が低く、過去の内部のLGDデータが不足しているため、BNG銀行はLGDモデルを確立することができない。したがって、BNG銀行はエクスポージャー全体に対して、4つの異なるLGD率を伴う基本的な一律LGDアプローチを適用している。

- ・ (オランダ) 中央政府または地方政府が交付または保証するエクスポージャーについて 0 %
- ・ EU内の中央政府または地方政府が発行する政府債について 10 %
- ・ 中央政府または地方政府の保証がないエクspoージャーおよび優先無担保債について 35 %
- ・ 劣後ローンについて 75 %

デフォルト時エクspoージャー

貸付金および利付有価証券(証券化を除く)に係るEADは、債務者が12か月間または全期間にわたって義務を負う契約上の返済額に基づく。任意返済または早期償還は、過去の実績から頻度が高くないため、考慮に入れていない。証券化に関する将来の契約上の返済額は、外部情報源から得られる見積定期限前返済率に基づく。コミットメント(オフバランスシート)ファシリティの場合、最大エクspoージャーは、12か月間または全期間(減損のステージによる)のどちらかにおいて予想される融資枠の使用を反映するよう調整される。

信用リスクの著しい増大

BNG銀行は、認識以降の信用リスクの著しい変動を評価するためのインプット・パラメータとして、将来に関する情報について調整されたポイント・イン・タイムPDを適用している。さらにBNG銀行は、信用リスクの著しい増大を判定するための補完基準として、支払猶予措置および30日超の期日経過を使用している。他方で、BNG銀行は認識以降の信用リスクの著しい変動のモニタリングについて、低信用リスクである場合の除外も適用している。この場合、信用リスクの著しい増大が生じているかを判定せずに、12か月間のECLを使用して減損が測定される。BNG銀行は、投資適格の格付を有する金融資産については「低信用リスク」であるとみなす。債券については、BNG銀行はBBB-以上を投資適格とみなしている。貸付金については、内部相手先信用格付を使用して投資適格であるかを判定している。内部相手先信用格付は、多数の市場セクター固有の内部格付モデルから導き出され、これらのモデルは外部的に検証されている。

BNG銀行は、ステージ3の減損金額を決定する際に、専門家を利用して判断を行っている。このアプローチは、特別管理部により金融商品レベルごとに実行される。

将来に関するマクロ経済情報

主要なマクロ経済変数を識別するために、過去のデータの分析が実施され、これらの変数は四半期毎に提供される。専門家による判断が適用され、資産・負債委員会（ALCO）により承認される。証券化以外についてデフォルト確率の決定に適用されるマクロ経済要素は、名目国内総生産（GDP）、失業率および雇用率である。証券化について適用されるマクロ経済要素は、住宅価格指数、長期金利および債務である。シナリオに対する加重は、2021年度の加重と比較して調整された。これは主に、ウクライナとロシアの戦争を含む地政学的緊張、米中貿易摩擦およびCOVID-19以降のサプライチェーンの混乱の結果、経済見通しが厳しくなったためである。

証券化

マクロ経済変数	2022年6月30日現在の期間		2021年12月31日現在の期間	
	3年	3年	3年	3年
ユーロ圏（17か国）の住宅価格指数				
ユーロ圏（19か国）の長期金利	3年		3年	
ユーロ圏の債務（家計およびNPISHへの貸付） ¹	3年		3年	

シナリオ	2022年6月30日現在の加重		2021年12月31日現在の加重	
	45%	60%	10%	15%
基本シナリオ				
上昇シナリオ				
下降シナリオ	45%	25%		

注1 対家計非営利団体

証券化以外

マクロ経済変数	2022年6月30日現在の期間		2021年12月31日現在の期間	
	3年	3年	3年	3年
オランダの国内総生産（GDP）				
オランダの失業率	3年		3年	
雇用率	3年		3年	

シナリオ	2022年6月30日現在の加重		2021年12月31日現在の加重	
	45%	60%	10%	15%
基本シナリオ				
上昇シナリオ				
下降シナリオ	45%	25%		

不良債権エクスポージャー

BNG銀行は、以下の基準のいずれかを満たす場合、不良債権の定義と完全に合致している金融商品を債務不履行と定義する。

- ・ BNG銀行が、債務者によるBNG銀行に対する信用債務の支払可能性が低いとみなしている。
- ・ 債務者によるBNG銀行に対する重要な信用債務の支払いが90日以上遅延している。

BNG銀行は、「支払可能性が低いこと」について以下の指標を採用している。

- ・ 債務者の収入源が、支払債務を履行するには不十分とみなされる。
- ・ 将来キャッシュフローに対する疑義の兆候が見られる。
- ・ 債務者の負債比率が著しく上昇した。
- ・ 1件以上の約款違反が発生した。
- ・ BNG銀行が保証の実行を求めるまたは担保権を実行した。
- ・ 他の債権者に対する著しい支払遅延（登記所に記録された）。
- ・ 債務者の市場セクターに経済的危機があり、同セクター内の債務者が信用弱者とみなされている。
- ・ 財務的困難により、債務者は市場セクターにおいて活発に活動しているとはみなされなくなった。
- ・ BNG銀行以外の債権者が当該債務者の破産を申し立てた。

信用損失引当金の感応度分析

信用損失引当金の金額の（再）計算において、インプットの変動に対する信用損失引当金の感応度を測定するために、異なるシナリオが設定されている。

シナリオ A

シナリオ A では、減損の対象となるすべての個別エクスポージャーの信用格付が1ノッチ引き下げられる（例えば、AAAからAA+）。これらの（引き下げられた）信用格付およびそれに伴うPDがステージ分類評価および信用損失引当金の計算に適用される。その結果、一部のエクスポージャーがステージ 1 からステージ 2 に振り替えられる。EADおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオ B

シナリオ B では、通常はLGDが0%のエクスポージャーのLGDを10%とする。通常はLGDが10%、35%または75%のエクスポージャーのLGDは変更されない。EAD、信用格付およびPDについても、ベース水準からの変更はない。

シナリオ C

シナリオ C では、信用損失引当金の計算がポイント・イン・タイムPDではなく、「スルー・ザ・サイクル」PDを使用して実施される。すなわち、将来に関するマクロ経済情報を組み込まないPDが計算に使用される。EAD、信用格付、ステージレベルおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオD（2021年度年次報告書ではHと記載）

シナリオDでは、よりネガティブなマクロ経済変数の影響を用いてデフォルト確率が計算される。この結果、PDおよびステージレベルが変更される。

以下の表は、4つのシナリオにおける信用損失引当金合計の感応度を示している。

	2022年6月30日現在			
	シナリオA (1ノッチ 引き下げ)	シナリオB (LGDを0% から10%に)	シナリオC (スルー・ザ・ サイクルPD)	シナリオD (100%下降 シナリオ)
実際の計上額				
引当金（評価性）				
現金および中央銀行残高	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	0	0	0	0
償却原価で測定される利付有価証券	1	2	1	0
貸付金および前渡金	225	236	235	231
	226	238	236	231
				233
引当金（負債性）				
オフバランスシート契約	0	0	0	0

	2021年12月31日現在				
	シナリオA (1ノッチ 引き下げ)	シナリオB (LGDを0% から10%に)	シナリオC (スルー・ ザ・ サイクルPD)	シナリオF (EWMA48%)	シナリオG (前年度の PD)
実際の計上額					
引当金（評価性）					
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	0	0	0	0	0
償却原価で測定される利付有価証券	2	4	3	2	3
貸付金および前渡金	237	248	256	240	238
	239	252	259	242	241
					245
引当金（負債性）					
オフバランスシート契約	1	1	2	1	1

5 分類別の金融商品の内訳

2022年6月30日現在

	償却原価	その他の包括		
		純損益を通じて 公正価値で測定	損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	25,350	-	-	25,350
銀行預入金	155	-	-	155
差入現金担保	4,964	-	-	4,964
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	1,136	-	1,136
デリバティブ	-	4,318	-	4,318
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	7,255	7,255
償却原価で測定される利付有価証券	7,354	-	-	7,354
貸付金および前渡金	90,440	-	-	90,440
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	(3,013)	-	-	(3,013)
資産合計	125,250	5,454	7,255	137,959
銀行借入金	19,518	-	-	19,518
受入現金担保	1,093	-	-	1,093
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	221	-	221
デリバティブ	-	8,128	-	8,128
負債証券	97,591	-	-	97,591
受託資金	6,597	-	-	6,597
劣後債務	37	-	-	37
負債合計	124,836	8,349	-	133,185

2021年12月31日現在

	償却原価	その他の包括		
		純損益を通じて 公正価値で測定	損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	9,264	-	-	9,264
銀行預入金	163	-	-	163
差入現金担保	12,993	-	-	12,993
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	1,383	-	1,383
デリバティブ	-	5,685	-	5,685
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	8,572	8,572
償却原価で測定される利付有価証券	7,632	-	-	7,632
貸付金および前渡金	89,738	-	-	89,738
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	13,555	-	-	13,555
資産合計	133,345	7,068	8,572	148,985
銀行借入金	19,525	-	-	19,525
受入現金担保	984	-	-	984
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	310	-	310
デリバティブ	-	16,935	-	16,935
負債証券	101,355	-	-	101,355
受託資金	4,525	-	-	4,525
劣後債務	36	-	-	36
負債合計	126,425	17,245	-	143,670

6 金融商品の公正価値

公正価値とは、意思または能力にかかわらず、現在の市場状況の下、測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引により、資産が売却された場合に受け取るであろう移転価格（取引費用調整前）または負債が移転された場合に支払うであろう価格である。評価が市場参加者の観点から行われる必要があるということを想定しており、これにより、金融商品の固有の特徴および制限のみが考慮される。3つのレベルの公正価値の間で区別がなされ、インプットの性質およびその全体の評価にとっての重要性がヒエラルキーの正しい分類にとって決定的である。

公正価値ヒエラルキー

- ・ レベル1：活発な市場における、当該商品の、または入手できない場合は同一商品の、（未調整の）相場価格に基づく評価。金融商品は、相場価格が定期的に入手可能である場合、ならびにそれらの価格が現在および定期的に生じる独立当事者間の市場取引を反映している場合に、活発な市場での相場価格があるとみなされる。金融資産および負債の相場価格は、中間市場価格に基づいている。
- ・ レベル2：レベル1で使用された相場価格を除く、直接的または間接的に観察可能な市場データを用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、類似した商品の活発な市場での相場価格、同一もしくは類似した商品の活発とはみなされない市場での相場価格、またはすべて市場データから直接的もしくは間接的に観察可能な重要なインプットによるその他の評価技法を用いて評価される商品を含む。
- ・ レベル3：市場で公表されない観察不能なインプットを大幅に用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法による商品を含み、そのため、観察不能な市場データが商品の評価に重要な影響を与える。このカテゴリーはまた、類似した商品の相場価格に従って評価された商品も含み、これにより重要で公には観察不能な変更または前提が、商品間の差異を示すために必要となる。

可能な場合、BNG銀行は、価格カーブおよび資金調達カーブを決定するために、相場価格（レベル1）を使用する。BNG銀行は、評価目的で中間市場価格を使用する。中間市場価格の使用は、金融資産および金融負債の市場リスクが相殺される場合、認められている。

多くの場合、BNG銀行は債務者に関し理論的な評価（レベル2）に依拠している。かかる場合は、一般的に金融業界で使用される評価モデルおよび技法に基づき公正価値が決定される。これらの大部分は純現在価値計算に基づくモデルおよびオプション価格モデルである。これらのモデルのための変数は、市場価格、フォワード価格設定、割引の市場条件に沿ったイールド曲線、相関、ボラティリティ、クロスカレンサー・スワップのベース・スプレッド、取引先の信用力ならびに市場当事者が価格決定に使用するその他の要因、見積り、仮定等の直接的または間接的に客観的に観察可能なインプットに基づく。BNG銀行は、いわゆるスプレッド曲線を、理論的な評価が必要な信用および流動性リスクに関連する金融商品の公正価値を決定するために使用する。これらのスプレッド曲線は、関連する金利曲線ならびに信用および流動性リスクのスプレッドに基づき作成される。信用リスク・スプレッドは、受入担保、保証および満期を考慮に入れ、債務者の信用度に左右される。流動性リスク・スプレッドは、商品の市場性の程度に左右される。個々の顧客および金融商品のリスク・プロファイルは、少なくとも四半期に1回評価される。必要な場合、信用リスク・スプレッドが調整される。

ごく限られた場合に、BNG銀行の金融商品の評価は、かなりの程度まで、市場で観察不能なインプットおよび経営陣の見積り（レベル3）に基づいている。2022年6月30日現在、BNG銀行はレベル3の金融商品を1つだけ保有しているが、これは劣後ローンである。

デリバティブ取引の公正価値決定の際に、信用評価調整（CVA）および債務評価調整（DVA）が、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結していないすべての顧客および金融取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。CVAおよびDVAはまた、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結したが、担保額の算定において重要な閾値が適用される顧客または取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。

BNG銀行は自己の信用リスクの決定において、関連するスワップ・カーブに対するスプレッド、すなわち「自己信用調整（OCA）」を適用している。OCAは、「純損益を通じて公正価値で測定される金融負債」に含まれる商品のみに関連する。

金融商品がフォワード契約の性格を持つ限り、フォワード・イールド曲線およびフォワード為替相場などの公表されているフォワード価格が使用される。複雑な商品の場合、商品の構成要素は、上記の技法およびモデルに基づき個別に測定される。商品全体の公正価値は構成要素の公正価値の合計として決定される。BNG銀行は、各報告期間末の財務ポジション処理のために継続的に測定される経常的な公正価値のみを適用する。

	2022年6月30日現在		2021年12月31日現在	
	貸借対照表 価額	公正価値	貸借対照表 価額	公正価値
現金および中央銀行残高	25,350	25,350	9,264	9,264
銀行預入金	155	152	163	165
差入現金担保	4,964	4,964	12,993	12,993
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1,136	1,136	1,383	1,383
デリバティブ	4,318	4,318	5,685	5,685
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	7,255	7,255	8,572	8,572
償却原価で測定される利付有価証券	7,354	7,244	7,632	7,665
貸付金および前渡金	90,440	88,178	89,738	104,146
金融資産合計	140,972	138,597	135,430	149,873
銀行借入金	19,518	19,524	19,525	19,488
受入現金担保	1,093	1,093	984	984
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	221	221	310	310
デリバティブ	8,128	8,128	16,935	16,935
負債証券	97,591	98,265	101,355	102,301
受託資金	6,597	6,676	4,525	4,651
劣後債務	37	41	36	44
金融負債合計	133,185	133,948	143,670	144,713

取引を行う際、公正価値のヒエラルキー分類は、分類を決定付けるインプット要因の性質およびその評価全体への重要性を踏まえた、評価に関する特徴に基づいて決定されている。分類は、取引全体として公正価値に重要性のあるインプットのレベルのうち最も低いものに基づいて行われる。

重要性は、評価全体の結果に対する観察不能なインプット要因の影響を、これらの観察不能なインプット要因に関する代替的な仮定の範囲を考慮に入れて決定することにより評価される。四半期毎に、各取引のヒエラルキー分類は評価され、必要な場合、調整される。

以下の表は、公正価値で認識される取引の公正価値ヒエラルキーの概要を示している。

2022年6月30日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	76	1,051	9	1,136
デリバティブ	-	4,318	-	4,318
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	7,173	82	-	7,255
金融資産合計	7,249	5,451	9	12,709

純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	221	-	221
デリバティブ	-	8,128	-	8,128
金融負債合計	-	8,349	-	8,349

2021年12月31日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	106	1,267	10	1,383
デリバティブ	-	5,685	-	5,685
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	8,482	90	-	8,572
金融資産合計	8,588	7,042	10	15,640
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	123	187	-	310
デリバティブ	-	16,935	-	16,935
金融負債合計	123	17,122	-	17,245

レベル3項目の公正価値の重要な変動

2022年上半期	
	純損益を通じて公正価値で測定される金融資産
期首残高	10
純損益を通じた損益：	
- 利息損益	0
- 未実現金融取引損益	0
- 実現金融取引損益	-
	0
- 再評価剰余金を通じた未実現価額調整	-
- 投資 / 処分	-
- キャッシュフロー	(1)
期末残高	9

2021年上半期	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	
期首残高	195
純損益を通じた損益 :	
- 利息損益	5
- 未実現金融取引損益	(10)
- 実現金融取引損益	-
	(5)
- 再評価剰余金を通じた未実現価額調整	-
- 投資 / 処分	-
- キャッシュフロー	(5)
期末残高	185

2021年下半期に、インフレ連動型金融商品がレベル3からレベル2に振り替えられた。BNG銀行はレベル3の金融商品を1つだけ保有しているが、これは劣後ローンであり、市場で取引されていない。したがって、類似の金融商品について入手できる観察可能な市場データは現在の公正価値を完全に反映するものではない。この取引の公正価値は、その信用スプレッドにより一部が影響を受ける。かかる信用スプレッドは、市場で公表されない観察不能なデータに基づく経営陣による見積りであり、2021年度と比べ変動していない。

重要なインプット要因の変動に対するレベル3資産および負債の公正価値の感応度

感応度分析では、金利、流動性および信用スプレッドの要素が、個別および相関数値の双方で示されている。以下の表は、これらの重要なインプット要因が個別に絶対的平行に変動した場合のレベル3資産の感応度を示している。これらのインプット要因の間に直接の依存関係はないものの、これらの2つのインプット要因が同時変動した場合の商品の全体的な感応度も示されている。

	2022年6月30日現在		2021年12月31日現在	
	純損益を通じて公正価値で測定される金融資産			
貸借対照表価額	9		10	
金利				
+ 10ベーシス・ポイント	0		0	
- 10ベーシス・ポイント	0		0	
+ 100ベーシス・ポイント	(1)		(1)	
- 100ベーシス・ポイント	1		1	
信用および流動性リスク・スプレッド				
+ 10ベーシス・ポイント	0		0	
- 10ベーシス・ポイント	0		0	
+ 100ベーシス・ポイント	(1)		(1)	
- 100ベーシス・ポイント	1		1	
重要なインプット要因の合計				
+ 10ベーシス・ポイント	0		0	
- 10ベーシス・ポイント	0		0	
+ 100ベーシス・ポイント	0		(1)	
- 100ベーシス・ポイント	2		2	

金融商品は公正価値で測定されているが、劣後ローンによるBNG銀行の業績への影響は限定的である。貸借対照表価額は900万ユーロに過ぎない。

償却原価による取引の公正価値ヒエラルキー

以下の表は、貸借対照表上、償却原価で認識される取引の公正価値を決定する方法の概要を示している。

2022年6月30日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	25,350	0	-	25,350
銀行預入金	4	145	3	152
差入現金担保	-	4,964	-	4,964
償却原価で測定される利付有価証券	243	6,636	365	7,244
貸付金および前渡金	502	80,486	7,190	88,178
金融資産合計	26,099	92,231	7,558	125,888
銀行借入金	9	19,515	-	19,524
受入現金担保	-	1,093	-	1,093
負債証券	83,126	15,139	-	98,265
受託資金	3,230	2,763	683	6,676
劣後債務	-	41	-	41
金融負債合計	86,365	38,551	683	125,599
2021年12月31日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	9,264	-	-	9,264
銀行預入金	23	138	4	165
差入現金担保	-	12,993	-	12,993
償却原価で測定される利付有価証券	206	6,994	465	7,665
貸付金および前渡金	861	95,255	8,030	104,146
金融資産合計	10,354	115,380	8,499	134,233
銀行借入金	1	19,487	-	19,488
受入現金担保	-	984	-	984
負債証券	87,599	14,703	-	102,302
受託資金	2,800	1,079	772	4,651
劣後債務	-	44	-	44
金融負債合計	90,400	36,297	772	127,469

レベル3に含まれる償却原価で測定される金融資産は主に、BNG銀行の法定顧客に対する自己資本要件が課される貸付金および前渡金に関連する。政府保証に基づく法定取引先に対する貸付金および前渡金は、オランダ王国が発行した債券との強い相関のため、レベル2に含まれる。レベル1に含まれる償却原価で測定される金融負債は、BNG銀行が発行した譲渡可能なベンチマーク債券（「負債証券」項目）に関連する。民間借入はレベル3（「負債証券」および「受託資金」項目）に分類される。

7 信用リスク

支払猶予されたエクスポージャー

支払猶予は、債務者の不安定な財務ポジションの結果、債務者がその債務を果たすことができるよう債務者のために信用条件が変更された信用契約に関連する。

エクスポージャー	2022年6月30日現在			
	合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	合計に占める割合
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	25,350	-	-	0.0%
銀行預入金	155	-	-	0.0%
差入現金担保	4,964	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1,136	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	7,255	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	7,354	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	90,440	382	332	0.4%
	136,654	382	332	0.3%

オフバランスシート契約

エクスポージャー	2022年6月30日現在			
	合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	合計に占める割合
オフバランスシート契約				
偶発債務	544	2	2	0.4%
取消可能信用供与契約	6,004	33	33	0.5%
取消不能信用供与契約	4,943	-	-	0.0%
	11,491	35	35	0.3%

エクスポージャー	2021年12月31日現在			
	合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	合計に占める割合
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	9,264	-	-	0.0%
銀行預入金	163	-	-	0.0%
差入現金担保	12,993	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1,383	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	5,685	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	8,572	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	89,738	365	313	0.4%
	127,798	365	313	0.3%

オフバランスシート契約

エクスポージャー	2021年12月31日現在			
	合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	合計に占める割合
オフバランスシート契約				
偶発債務	501	-	-	0.0%
取消可能信用供与契約	5,871	12	12	0.2%
取消不能信用供与契約	4,487	-	-	0.0%
	10,859	12	12	0.1%

債務者の不利な財務ポジションの結果として契約条項が変更された信用契約は、2022年6月30日現在3億8,200万ユーロ（減損控除前）（2021年12月31日現在：3億6,500万ユーロ）であった。支払猶予されたエクスポートレーニング合計は、13件の債務者（2021年度末：12件の債務者）に関するものである。2022年上半期に、BNG銀行により3件の債務者について新たに支払猶予措置が講じられた。

不良債権

BNG銀行の不良債権エクスポートレーニングの定義の開示については、注記4（金融資産およびオフバランスシート契約の減損）を参照のこと。不良債権に分類されるエクスポートレーニングは、以下のすべての条件を満たす場合、再び正常債権とみなされる。

- ・ 債務者が再び、すべての契約条件を満たしている（債務不履行は生じていない）。
- ・ 既存または変更後の支払条件に従って、債務者の状況が、債務者が債務を返済することができる程度まで改善している（「支払可能性がある」）。
- ・ 債務者に90日を超える支払いの遅延がない。

正常債権の支払遅延エクスポートレーニングの満期分析

数値は、IFRS第9号に基づく減損ステージ3に含まれない支払遅延エクスポートレーニングで構成されている。

	2022年6月30日現在	2021年12月31日現在
31日未満	0	1
31日以上60日以下	-	-
61日以上90日以下	-	-
90日超	-	-
期末残高	0	1

金融資産および金融負債（デリバティブ）のネットティング

BNG銀行がデリバティブ取引を締結する準備を整えている金融相手先は、信用リスクを減らすためにネットティング契約が提供される。さらに、相対の担保契約が締結される。これらにより、市場価額の動向を担保によって日次で緩和できるようにしている。契約は、規制の変更に応じて必要があれば更新される。これらの契約は、キャッシュフローが中央清算参加者を通じて相殺されない限り、貸借対照表上のネットティングの対象ではない。以下の表は、貸借対照表上のネットティング前の総額ポジション、および担保契約を考慮に入れた場合の総額ポジションを示している。

2022年6月30日現在			
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	7,764	(11,574)	(3,810)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(3,446)	3,446	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	4,318	(8,128)	(3,810)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(2,818)	2,818	0
担保考慮前のエクスポートレーニー	1,500	(5,310)	(3,810)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(1,084)	4,661	3,577
正味エクスポートレーニー	416	(649)	(233)
2021年12月31日現在			
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	10,685	(21,936)	(11,251)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(5,000)	5,000	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	5,685	(16,936)	(11,251)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(3,799)	3,799	0
担保考慮前のエクスポートレーニー	1,886	(13,137)	(11,251)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(1,054)	13,229	12,175
正味エクスポートレーニー	832	92	924

2022年6月30日現在、デリバティブに係る差入担保額は52億ユーロ（2021年度：146億ユーロ）であった。BNG銀行の信用格付が3ノッチ引き下げられても、2021年度同様、当該金額には影響しない。BNG銀行の流動性ポジションの強さは、担保債務を満たし、担保債務の変動を吸収するのに十分である。

2022年6月30日現在		
	リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)
リバースレポ契約およびレポ契約のネットティング		
貸借対照表上のネットティング前の貸借対照表価額総額	999	(2,082)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットティング	(999)	999
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	(1,083)

2021年12月31日現在		
リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)	
リバースレポ契約およびレポ契約のネットティング 貸借対照表上のネットティング前の貸借対照表価額総額	998	(998)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットティング	(998)	998
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	0

利付有価証券（IBS）投資

BNG銀行のIBSポートフォリオは、主に流動性管理目的で保有されている。ポートフォリオは、質の高い債券で構成され、その大部分は中央銀行が担保として受け入れる。BNG銀行のIBSポートフォリオ全体は流動性ポートフォリオとALM（資産および負債管理）ポートフォリオに分けられる。流動性ポートフォリオは、譲渡性の高い有価証券のみで構成され、以下の表に示される様々なLCRレベルに従って細分化されている。ALMポートフォリオは、有価証券の種類によって細分化されている。ポートフォリオの動向は毎月報告される。外部格付および内部格付等の要因を用いて、BNG銀行はその動向を個別に監視している。これらのポートフォリオ内の資産は、年2回減損分析を受ける。

各格付カテゴリーについて以下に表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。貸借対照表価額合計（減損控除前）も最右列に示されている。価額合計153億4,000万ユーロは、貸借対照表項目「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産」（72億5,400万ユーロ）、「償却原価で測定される利付有価証券」（73億5,400万ユーロ）および「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」（7億3,200万ユーロ）で認識される。

	2022年6月30日現在						貸借対照表 価額合計
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	
流動性ポートフォリオ							
レベル - 政府 / 国際機関	2,938	1,613	-	46	-	4,597	4,394
レベル B - カバード・ボンド	538	-	-	-	-	538	516
レベル A - 政府 / 国際機関	-	58	-	-	-	58	76
レベル A - カバード・ボンド	340	-	-	-	-	340	337
レベル B - 法人	-	-	25	-	-	25	26
レベル B - RMBS	1,216	-	-	-	-	1,216	1,232
	5,032	1,671	25	46	-	6,774	6,581
ALMポートフォリオ							
当初証拠金	2,250	1,075	220	-	-	3,545	3,341
RMBS	55	200	50	17	-	322	322
ABS	43	-	24	19	49	135	134
RMBS-NHG	3,146	55	110	-	-	3,311	3,316
その他	104	444	379	411	-	1,338	1,646
	5,598	1,774	783	447	49	8,651	8,759
合計	10,630	3,445	808	493	49	15,425	15,340

	2021年12月31日現在						額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	合計		
流動性ポートフォリオ								
レベル - 政府 / 国際機関	4,839	1,370	-	-	46	6,255	6,540	
レベル B - カバード・ボンド	913	-	-	-	-	913	927	
レベル A - 政府 / 国際機関	-	59	-	-	-	59	106	
レベル A - カバード・ボンド	330	-	-	-	-	330	338	
レベル B - 法人	-	-	25	-	-	25	25	
レベル B - RMBS	971	-	-	-	-	971	983	
	7,053	1,429	25	-	46	8,553	8,919	
ALMポートフォリオ								
当初証拠金	389	1,227	220	-	-	1,836	2,100	
RMBS	93	229	55	-	18	395	396	
ABS	47	-	63	22	50	182	180	
RMBS-NHG	3,277	62	120	-	-	3,459	3,465	
その他	99	422	139	447	65	1,172	1,992	
	3,905	1,940	597	469	133	7,044	8,133	
合計	10,958	3,369	622	469	179	15,597	17,052	

長期外国エクスポート

以下の表は、長期外国エクスポートの概要を示している。デリバティブ取引および短期取引（銀行との特定の現金担保を含む。）は含まれていない。表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。

	2022年 6月30日現在						額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	合計		
国際機関								
国際機関	1,477	-	-	-	-	-	1,477	1,300
国際開発金融機関	161	-	-	-	-	-	161	139
オーストリア	-	870	-	-	-	-	870	790
ベルギー	-	388	-	123	-	-	511	526
デンマーク	42	-	-	-	-	-	42	35
フィンランド	-	260	-	-	-	-	260	230
フランス	262	1,187	50	5	-	-	1,504	1,531
ドイツ	453	55	17	-	-	-	525	475
イタリア	-	5	16	-	49	-	70	70
ルクセンブルク	401	-	-	-	-	-	401	359
ポルトガル	-	15	24	-	30	-	69	69
スペイン	12	180	239	63	-	-	494	547
スイス	-	-	63	-	-	-	63	66
英國	340	444	127	448	54	-	1,413	1,713
米国	24	-	-	-	-	-	24	24
合計	3,172	3,404	536	639	133	-	7,884	7,874

	2021年12月31日現在						貸借対照表 価額合計
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	合計	
国際機関	1,395	-	-	-	-	1,395	1,405
国際開発金融機関	203	-	-	-	-	203	195
オーストリア	-	700	-	-	-	700	713
ベルギー	-	355	68	127	-	550	700
デンマーク	42	-	-	-	-	42	41
フィンランド	-	260	-	-	-	260	260
フランス	150	1,286	85	19	-	1,540	1,775
ドイツ	1,028	55	16	-	-	1,099	1,147
イタリア	-	8	17	-	50	75	73
ルクセンブルク	386	-	-	-	-	386	384
ポルトガル	-	16	26	50	30	122	121
スペイン	14	206	244	42	64	570	655
英国	330	422	63	444	117	1,376	2,186
米国	22	-	-	-	-	22	23
合計	3,570	3,308	519	682	261	8,340	9,678

投資不適格項目（すなわち、格付BBB-未満の項目）は、大部分が英国、イタリアおよびポルトガルにおけるエクスポート・エクスポート・ファイナンスのスキームで構成される。これは主に、カバード・ボンドおよび住宅ローン担保証券（RMBS）取引を含む利付有価証券に関係する。英国の投資不適格のエクスポート・エクスポート・ファイナンスのスキームは、インフラ、教育、エネルギーおよびヘルスケアの分野での少数の民間プロジェクト・ファイナンスのスキームに関係する。外国投資不適格エクスポート・エクスポート・ファイナンスの公正価値合計は、1億2,500万ユーロ（2021年度末：2億8,800万ユーロ）であった。

オフバランスシート契約

偶発資産

オランダ中央銀行（DNB）は、内部手続上の誤りにより、2020年6月24日から2021年6月23日までの期間に関連する税引前の金額5,700万ユーロのTLTRO第三弾の優遇金利を、是正措置にもかかわらず、BNG銀行に付与しなかった。BNG銀行は、法的助言を受けて、このDNBの決定に対して訴訟を提起した。

偶発債務

これは、BNG銀行が第三者のために保証を発行した取引から生じる一切の契約債務を含む。これらのいわゆる信用状は、預金または公的機関の副保証によりカバーされる。BNG銀行は、借主が債務不履行の場合に支払う必要がある原貸付元本額で偶発債務を計上している。

	2022年6月30日現在	2021年12月31日現在
偶発債務	544	501

取消可能信用供与契約

これは、取消可能な当座勘定信用供与契約に帰属する一切の契約債務を含む。

	2022年6月30日現在	2021年12月31日現在
取消可能信用供与契約	6,004	5,871

取消不能信用供与契約

これは、貸付金および前渡金を供与することになりうる一切の取消不能な契約債務を含む。以下の表で、これらの契約は、与信枠ならびに契約済み貸付金および前渡金の将来の実行に区分される。

	2022年6月30日現在	2021年12月31日現在
与信枠の未使用部分に関する基本契約	1,919	1,990
将来実行予定の契約済み貸付金および前渡金	3,024	2,497
合計	4,943	4,487

貸借対照表日以降の事象

貸借対照表日以降、中間報告書の数値または開示に調整が必要な報告すべき事象はない。

ハーグ、2022年9月2日

法定取締役会

Gita Salden (CEO)

Olivier Labe (CFO)

Cindy van Atteveldt-Machielsen (CRO)

監督取締役会

Huub Arendse、会長

Jan van Rutte、副会長

Karin Bergstein

Johan Conijn

Marlies van Elst

Leonard Geluk

Femke de Vries

第3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし